

1. 件 名：リサイクル燃料貯蔵株式会社の原子力事業者防災業務計画の修正の検討について（2回目）

2. 日 時：令和6年1月22日 13:00～13:30

3. 場 所：原子力規制庁3階 室内会議卓

4. 出席者

原子力規制庁

緊急事案対策室

武長専門職、蔦澤専門職

（以下、テレビ会議システムによる出席）

リサイクル燃料貯蔵株式会社

防災安全GM、他1名

5. 要 旨

リサイクル燃料貯蔵株式会社から、原子力事業者防災業務計画（以下「防災業務計画」という。）について、前回の面談時（令和5年12月18日）の内容から貯蔵燃料の量を修正することについて、資料1に基づき説明があった。

それに対して、原子力規制庁から、昨今の大規模地震時の状況に鑑みれば災害時の燃料の調達は困難になることが想定されることを伝えた。

リサイクル燃料貯蔵株式会社から、今回の指摘を踏まえ当初の計画のとおり対応するとの回答があった。

6. その他

配布資料：

資料1 リサイクル燃料備蓄センター原子力事業者防災業務計画 新旧比較表（リサイクル燃料貯蔵株式会社）